

Pair Letter

松戸市立総合医療センター広報誌 ペアレター Vol.1

特集 主治医と病理医のパートナーシップが患者さんにとってより良い医療を実現する

小児患者さんご家族を地域で支える
 外来を受診される方へ / 旬の一品「茄子の肉みそ」
 連携登録医をご紹介します・石島医院、クリニック ソワニエ



外来診療一覧 (H30.11.1現在)

詳細はホームページの各診療科の案内をご覧ください

	診療科名	外来表(一般外来及び予約専門外来)	備考
内科系	内科	内分泌・代謝/アレルギー・リウマチ・膠原病/腎疾患	
	循環器内科	一般外来/ペースメーカー外来	
	呼吸器内科	一般外来	
	消化器内科	一般外来	
	脳神経内科(予約制)	一般外来	
	血液内科	一般外来	
	緩和ケア科(予約制)	診察は外来主治医と相談	
	総合診療科	一般外来	
	皮膚科(完全紹介予約制)	一般外来	
	化学療法内科(予約制)	診察は外来主治医と相談	月・水・木曜日休診
外科系	歯科口腔外科(完全紹介予約制)	一般外来	月曜日休診
	外科・消化器外科・乳腺外科	一般外来	
	呼吸器外科	一般外来	火・金曜日休診
	心血管外科(予約制)	一般外来	月・火・木曜日休診
	脳神経外科	一般外来	
	整形外科(完全紹介予約制)	一般外来/小児整形/成人股・膝・肩・肘関節/側湾症/リウマチ	
	形成外科	一般外来	水曜日休診
	眼科(完全紹介予約制)	一般外来	火曜日・木曜日午後休診
	耳鼻いんこう科	一般外来	
	泌尿器科	一般外来	
産婦人科	一般外来/妊婦健診/不妊外来/ハイリスク妊婦外来/コロポ外来		
小児	小児科	一般外来/小児神経/腎臓/アレルギー/呼吸器/血液/循環器/感染/内分泌	
	小児外科	一般外来	月曜午前休診・水・金曜日休診
	小児脳神経外科	一般外来	月・水・木曜日休診
	小児心血管外科	一般外来	火・木・金曜日休診
	新生児科(予約制)	一般外来/シナジス	月曜午後・火曜日午後休診
その他	放射線科	一般外来	水・木曜日休診
	救急科(再来)(予約制)	再来患者 11:00~12:00	
	精神科	現在休診中	
特別外来	女性特別外来(予約制)	一般外来	月曜日以外は休診
	禁煙外来	総合診療科外来へ	
	セカンドオピニオン外来(予約制)	一般外来	
	母乳外来(予約制)	産婦人科外来へ	
	ストーマ外来(予約制)	人工肛門/人工膀胱(外科・泌尿器科外来または外来主治医へ)	

松戸市立総合医療センター Matsudo City General Hospital

〒270-2296 千葉県松戸市千駄堀993番地の1
 TEL 047-712-2511(代) FAX 047-712-2512(代)

【診療】 月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始は休診)

【受付時間】 初診: 8時30分～午前11時
 再診: 8時～午前11時

【完全紹介予約制】は、地域の医療機関からの紹介状と事前の受診予約が必要です。

【予約制】は、事前の受診予約が必要です。
 (6ページを参照)



総合医療センター
QRコード

発行元: 松戸市立総合医療センター 広報戦略室(経営企画課内)

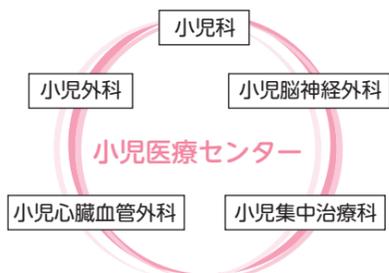


小児患者さんご家族を地域で支える

当院の小児医療センターは、多様な専門分野を持った小児科医が所属しています。そして、地域との連携による24時間365日対応可能な小児救急システムを構築しています。このシステムの構築に尽力した、小児医療センターの平本龍吾所長にお話を伺いました。



重症患者を受け入れる PICU



当院の小児医療センターは、小児科・小児外科・小児心臓血管外科・小児脳神経外科・小児集中治療科の5科から成り、①地域に密着した小児救急医療、②広域を対象とする最重症小児患者さんや特殊な専門疾患の受け入れ可能な小児医療センターを目指しています。

小児集中治療科は、重篤な小児患者の治療にあたるPICU(小児集中治療室)を10床備え、東葛北部はもとより、千葉県全域・茨城県・東京都・埼玉県からも受け入れを行っています。2017年12月に移転・開院した新病院はヘリポートを所有しており、遠方の場合はドクターヘリで搬送されてきます。2018年7月現在、PICUの入室者数は年間約400名、新生児・乳児を含めた小児の手術件数は年間約450〜500件行っており、他院では対応困難な小児外科疾患、先天性心疾患、脳腫瘍や脊髄の病気にも対応しています。

小児科の常勤医師は、後期研修医を含めると28名所属し、大学病院や小児専門病院を除くと全国でも最大規模です。近年新しく始まった専門医制度下での小児科後期研修では、全国から応募があり、やる気に満ち溢れた仲間とともに小児科研修を開始しています。また、多くの認定看護師(小児救急看護・集中ケア・新生児集中ケア等)が在籍し、高い医療レベルを実現しています。

さらに、当センターは、松戸市医師会及び松戸市薬剤師会、地域の総合病院、そして消防機関と協力して、小児患者さんの重症度に応じて役割分担を行います。

夜間小児急病センター案内図



小児救急医療と専門医療を兼ね備え地域の小児医療に貢献する

多様な専門分野を持った小児科医チームが連携プレーで患者さんご家族を支える



小児医療センター 所長 平本 龍吾

プロフィール

1984年自治医科大学卒業後、旧国保松戸市立病院にて初期研修、同病院小児医療センターにて小児科後期研修終了。国保多古中央病院小児科勤務の後、松戸市立病院小児医療センター小児科医長、兼小児科・小児集中治療科部長を経て、2018年より現職。

診察を行っておりますので、是非夜間小児急病センターもご利用ください。

「ペアレター」創刊に寄せて

このたび松戸市立総合医療センターの広報誌「ペアレター」を創刊いたしました。誌名には、松戸市の特産であり、当院の外観の色に用いられている「梨=pear(ペア)」という意味と、患者さんや、地域の医療機関及び医師会と、「pair(ペア)」で邁進したいという想いを込めています。



病院長から創刊のご挨拶

松戸市立総合医療センター 院長 烏谷博英

この度、松戸市立総合医療センターでは、広報誌「ペアレター」を発行することとなりました。今後は、本誌を通じて、患者さんや地域の皆さんへさまざまな情報を発信するとともに、多くのご意見をいただき、皆さんとの架け橋となれればと思います。

松戸市立病院は、2017年12月の移転・開院に伴い、松戸市立総合医療センターとして生まれ変わり、救急関連部門や小児・

周産期部門特にPICU、NICUの増床及び配置の変更で診療の効率化、病室構成の見直しで療養環境の向上を図りました。画像診断装置の増設による検査待ち時間の短縮や、高精度照射対応の放射線治療装置(MRT)の導入、外来化学療法室の充実など、質の高い集学的腫瘍治療にも対応しています。また、新病院は、地域の災害拠点病院、3次救急病院として、災害時にも継続して診療が行えます。

高度で先進的な医療を担う一方で、地域支援病院として地域全体で連携して患者さんを支える協力的体制を構築し、医療を通じて地域に貢献するよう取り組んでまいります。

私たちが目指すのは、基本理念でもある患者さん・職員からも「来てよかった」と思われる病院です。新病院開院と広報誌創刊を機に、職員一同気持ちを新たに、理念実現を目指して努力してまいります。

松戸市医師会 会長から創刊を祝して

松戸市医師会 会長 東 伸宣

今回、新たな病院広報誌として「ペアレター」が発刊されることになり、お喜び申し上げます。松戸市医師会として期待するところ大なるものがあります。松戸市立総合医療センターは松戸市だけでなく、東葛北部医療圏の中核病院としての機能を担う重要な位置づけでありますが、一方で、第一義的には松戸市民の健康と医療を担う役割がその根底にあります。その中でも市民目線で考



える医療の提供は特に大切で、この新しい病院広報誌「ペアレター」が担う役割は重要になってきます。医療を受ける側と医療を提供する側の交流ができ、安心して病院にかかれるツールとして発展していくことを願っています。

また、松戸市立総合医療センターは市内の病院、診療所などの医療機関との役割分担により専門性の高い医療、各科の協力的体制が必要な集学的医療を行なうだけでなく、高齢化社会に対応する、高度急性期、急性期、回復期、慢性期、在宅医療に分けた医療区分の中で、市内の各医療機関との連携を進めながら、その中で役割を明確にしていき、市民もその役割を理解してもらう必要があります。その上で、どこからも頼りにされる医療機関を目指してもらいたいと思います。なおかつ、市民から「困ったときは医療センターに」と言ってもらえるような病院としてこの広報誌「ペアレター」が活躍されることを祈念いたします。

看護師による市民講座「看護師からの“エン”談話」

専門的知識を持つ認定看護師が体操や試食を通して皆さんに健康の大切さをお届けします。

日時：11月18日(日) 14時00分～15時30分 / 会場：馬橋東市民センター

内容：①摂食・嚥下障害看護認定看護師 石川祐希恵による「“誤嚥”性肺炎予防の嚥談話」
②慢性心不全看護認定看護師 佐原美沙子による「カラダに“ご塩”のある塩談話」

費用：無料 / 定員：当日先着120名

問合せ先：松戸市立総合医療センター TEL 047-712-2511(代) 内線2180(教育研究センター)へ





産婦人科部長

海野 洋一 YOUICHI UNNO

1997年新潟大学卒業後、千葉大学産科婦人科学教室に入局。成田赤十字病院にて研修後、千葉大学大学院医学研究院生殖機能病態学修了。千葉大学付属病院助教及び千葉県がんセンター医長などを経て、2013年旧国保松戸市立病院産婦人科副部長、2014年より現職。日本産科婦人科学会専門医・指導医、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医、日本婦人科腫瘍学会専門医、がん治療認定医。

病理診断科部長

野呂 昌弘 MASAHIRO NORO

1992年筑波大学卒業後、筑波大学附属病院で研修(レジデント)終了。旧国保松戸市立病院病理診断科医長、副部長を経て、2016年より現職。日本病理学会認定病理専門医、厚生労働省死体解剖資格認定、日本臨床細胞学会細胞診専門医・指導医。

特集 病理医がいるからこそできること 主治医と病理医のパートナーシップが 患者さんにとってより良い医療を実現する

日本で病理医不足が深刻化しているなかで、当センターには複数の病理医が常勤しています。今号では、病理診断科の野呂昌弘部長と連携の深い、産婦人科の海野洋一部長のお二人にお話を伺いました。

「病理医の主な仕事は？」

野呂 患者さんから採取された病変の組織や細胞から標本をつくり、肉眼や顕微鏡で観察して診断することを病理診断といい、専門に行う医師が病理医です。手術や胃・大腸や肺の内視鏡検査を行った際に採取した病変を標本にし、病気の種類や病状の程度を診断する「組織診断」、痰や尿の中にがん細胞が混じったがん細胞を顕微鏡で調べ、悪性が良性かの鑑別を行う「細胞診断」、手術中に大至急で良悪性診断を得なければならぬ場合などの「迅速診断」などの業務を行っています。

また、当センターは、一般病院では数少ない電子顕微鏡を有し、主に腎疾患や内分泌腫瘍の診断、特に小児科の腎疾患の診断では、詳細な治療方針を決めるレベルの判断が可能です。

以上のように、病理医は患者さんに接する機会は少ないですが、主治医が患者さんにとって適切な治療や診断を行うために、病理診断は大きな役割を果たしており、各診療科と広く深い連携をしております。

「病理医がいるからこそできる 術中迅速病理診断とは何ですか？」

海野 常勤の病理医が所属していることは、患者さんにより良い医療を提供することに繋がります。特に、術中迅速病理診断は、病理医がいるからこそ可能であり、手術を受ける患者さんにとっても、執刀医にとっても、より良い体制であるといえます。例えば、子宮頸がんや子宮体がんでは、ほとんどの場合、手術前に病変部が良性か悪性か、判断がついています。子宮なら器具を挿入して細胞や組織を取り、細胞診や組織診を行えるからです。しかし、病変が身体の深い部分にあるために生検が難しい場合、例えば、卵巣がんなどは、手術前に生検組織診断を行うことは難しく、画像診断や血液検査(腫瘍マーカー)で、おおよその診断しかできません。そのような場合は手術中の迅速診断を依頼します。

く、画像診断や血液検査(腫瘍マーカー)で、おおよその診断しかできません。そのような場合は手術中の迅速診断を依頼します。

「病理医の診断を元に 手術中に手術方針を決定」

野呂 手術中に採取された臓器や組織から5〜20分で病理診断が行われます。病変が良性か悪性か、病理医が診断結果を執刀医に連絡し、その結果をもとに執刀医が手術方針を決定します。



海野 がんの転移が疑われる部分を調べて、切除する範囲を決めるときにも、術中迅速病理診断は役立ちます。がんを取りきっているか、どこまで広がっているか、どこまで取るか、病理医の診断を元に執刀医は手術中に判断できます。先ほども例に挙げた卵巣がんでは、手術中に採取した病変部が良性で、採りきれなければ終了します。悪性の場合は、腫れていないもう一方の卵巣や子宮、リンパ節などに及ぶ手術になります。また、卵巣腫瘍は良性と悪性が混在しているケースもあるため、病理医による標本の診断が極めて重要になります。

「病理医が在中しているメリットとは？」

海野 術中迅速病理診断が行えないと、採取した病変を外部の検査機関に送付し、病理診断の結果悪性とわかれば、後日再度手術をすることになります。あるいは、病理医の診断がなく切除範囲を決めて全摘出となると、手術時間が長く、傷も大きくなり、術後の合併症の可能性も高くなります。このように術中迅速病理診断は、卵巣腫瘍の手術では大変重要な役割を担っています。

「術中迅速病理診断と最終的な病理診断は、 どの程度一致しているのですか？」

野呂 術中迅速病理診断では、検体を急速に凍らせて短時間で標本を作製するため、氷の結晶が組織を破壊します。ですから、時間をかけられた通常の標本と比較すると判断が難しい場合もあります。

そのため、手術後には通常の安定した標本を作製して比較し、最終的な病理診断を行っています。ほとんどの場合、術中迅速病理診断と一致しています。また、判断が難しい標本の場合、複数の病理医による判断が可能である点も当センターの特長です。

「正しい診断には、 信頼関係と連携プレーが重要」

海野 組織や細胞の採取は、執刀医が行いますが、採取された組織からつくられた標本を観察して診断するのは病理医です。正しい診断には、病理医との信頼関係と連携プレーが欠かせません。

野呂 一番大切なのは、標本に見える所見と臨床所見を総合的に判断することです。外部の検査機関では、臨床所見の情報が乏しい中で標本だけで判断せざるを得ません。そのため慎重になり、より詳細な診断を下すことが難しくなります。病理医が常勤していれば、主治医と直接情報を交換しやすく、共通の認識を持った上での診断が可能です。今後、患者さんにとっても、より良い体制で、より良い医療を提供できるよう、貢献していきたいと考えています。



外来や入院患者さんが、病理診断に関するより詳細な説明を希望される場合には可能な限り対応していますので、各診療科の担当医にご相談ください。



病理診断科の主な実績

- 病理組織診断(生検・手術)：年間約5,000件
- 細胞診断：年間約6,000件
- 迅速診断：年間約100件から150件
- 病理解剖：年間約10件から15件
- CPC(臨床病理検討会)：年間約10回から12回
- カンサーボード(術前検討会)：年間約50回(約週1回)
- 腎生検病理症例検討会：年1、2回

総合医療センターの
連携登録医をご紹介します

「かかりつけ医」として患者さんを支え、地域医療に貢献する診療所やクリニック。
今回は、当センターの連携登録医の中から「石島医院」と「クリニックソワニエ」をご紹介します。

院長 石島秀紀先生にお話を伺いました。
Q. ご来院される患者さんの年齢層や疾患などの傾向はありますか？
中高年の方だと、生活習慣病の方や消化器疾患や漢方診療の方に加え、最近では認知症の方の受診・相談も増えています。訪問診療では認知症や脳卒中、心不全、がんの方が多く、さまざまな病気の診療・相談に乗っています。
Q. 力を入れている治療、診察で心がけていることはありますか？
自院でもある程度の検査はで



石島医院

所在地：松戸市南花島2-27-3
お問い合わせ：047-367-2131
診療科：内科、消化器内科、胃腸科、外科、漢方内科、訪問診療

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
8:30～12:00	○	○	×	○	○	○	×	×
14:00～18:30	○	○	×	△	○	×	×	×

月・火・金の昼休み、木曜午後は訪問診療(△)
朝8時と昼12時は内視鏡・超音波検査

市内の大きな病院と地域の開業医との役割分担・機能分化を、さらに推進すべきだと考えます。普段はかかりつけの先生に診てもらい、検査などの必要時には大きな病院に紹介され診療を受ける。落ち着いたらまたかかりつけの先生に戻るといった連携を進めることが、患者さんが住み慣れた街で安心して過ごすために必要だと思えます。そのために、医師のみでなくさまざまな職種の方々が協力する体制や意識の持ち方など、なすべきことを明確化していくべきではないでしょうか。



Q. 地域医療などの今後の課題を挙げるとすれば、どのような点でしょうか？
Q. 地域医療などの今後の課題を挙げるとすれば、どのような点でしょうか？

院長 金丸裕先生(内科)と金丸ひかり先生(産婦人科)にお話を伺いました。
Q. 医師を志したきっかけを教えてください。
A. 裕先生 高校3年生のときに大けがをして、病院にかかったことがきっかけです。
Q. 裕先生 高校3年生のときに祖母が亡くなったことがきっかけではありませんが、それ以上に、長く働くために資格を得たいというものに興味があり、医療の道にす



クリニックソワニエ

所在地：松戸市椏台7-2-18
お問い合わせ：047-308-3008
http://www.clinique-soigneur.jp
診療科：内科、産婦人科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:30	○	×	○	○	○	○	●
15:00～18:30	○	×	○	○	○	×	×

●日曜：内科のみ(月2回)
産婦人科は(受付)9:30～(終了)17:30

Q. 力を入れている治療、診察で心がけていることはありますか？
A. 裕先生 専門は腎臓ですが、地域のかかりつけ医として、幅広く内科系疾患全般に対応しています。「病気がなったら、また来たいな」と思っていたら、また来た「誠意ある医療」を心がけております。
Q. 裕先生 漢方を取り入れており、患者さんが困っている症状に対応するひとつの手段として役立っています。診察では患者さんのお話をよく聞いて、生活パターンを加味して複数の選択肢を提示し、一人ひとりに合った医療を心がけています。



当センターでの治療を終えられた患者さんは

- ご紹介による患者さんの場合は、原則としてご紹介元の医療機関と連携します。
- ご紹介がなく来院された患者さんや、症状により新たな医療機関での受診が必要な場合は、患者さんのお住まいやご要望などをふまえて、連携登録医の専門性や受入可能かどうかを総合的に判断し、ご紹介いたします。

外来を受診される方へ 診療科により、紹介制や予約制を設けておりますので、受診の際は
お電話または診療科のホームページをご覧ください。



- ※1 以前当院を受診した方でも初診になる場合
 - ・診療を受けていた病気が治癒した後、新たな病気について診療を受ける場合
 - ・予約日に受診せず、任意に診療を中止し、一定期間経過した場合
- ※2 初診の予約方法
 - ・かかりつけ医から紹介状を受け取り、患者さんからお電話で予約をする方法
(お手元に紹介状をご準備ください)
 - ・かかりつけ医からFAXで予約をする方法
- ※3 次の場合は選定療養費のご負担はありません
 - ・救急車で当院に搬送された方
 - ・生活保護による医療扶助の対象となる方
 - ・特定疾患など各種公費負担制度受給対象の方
 - ・労働災害・公務災害で受診の方
 - ・今回受診する診療科は初めてだが、別の診療科に通院中の方

旬の一品 茄子の肉みそ

材料(1人分)

- 茄子・・・60g(1本)
- 鶏ひき肉・・・60g
- 酒・・・小さじ1
- 生姜・・・3g

①

- さとう・・・小さじ1 ※
- みりん・・・小さじ1 ※
- 味噌・・・小さじ2
- 水・・・小さじ1

※ 味噌の風味にあわせてさとうとみりんの分量を調整して好みの甘さに仕上げてください

栄養士からのワンポイント
茄子の色素であるナスニンは、活性酸素を抑える作用があり、動脈硬化や高血圧の防止にも効果あるといわれています。ナスニンは水溶性のため、水にさらしたり煮たりせずに、相性の良い油でさっと揚げることで効率的に摂取できます。これからの季節は、身体をあたためる味噌や生姜などと一緒にいかがですか？

エネルギー	234kca	タンパク質	17.4g
炭水化物	11.6g	食塩	1.4g

作り方

- 1 肉味噌をつくる。鶏ひき肉を中火にかけ、酒を入れて炒る。全体が白っぽくなったら、①を加えて混ぜ、水分が少なくなったら弱火にし、煮詰める。最後に生姜を加えて、軽く混ぜて火を止める。
- 2 茄子を洗い、水けをふき取る。茄子のガクを切りそろえ、揚げるときに破裂しないように、縦に1本切り込みを入れる。
- 3 揚げ油を約180℃に上げ、茄子を揚げる。切り口が開き、皮にシワが寄ってきたら油から上げる。
- 4 切り目から包丁を入れて開き、肉みそをのせたら、できあがり。